

ライフプランを立てよう! (人生の予算と計画) 後編

新学期のスタートから3カ月が過ぎ、そろそろ家庭の年間支出の予想額がつかめてきたところでしょうか？ それぞれが自分らしく生きることを目標に、人生を予算化し、計画的に実行していきましょう。

1 ライフプランを立てるために大切なことは？

ライフプランを立てるには、まず目標の設定が必要です。下記の年代別ポイントのように、年代で取り組むべき課題は異なります。家族形成期であれば、マイホーム取得や自家用車の買い替えなどの目標を設定し、それを達成するには、どれくらいの時間と、どんな手段(貯蓄・保険・ローン)が必要なのかを考えてみましょう。

人生にはハプニングが起こることも。一度作ったら終わりではなく、定期的なプラン修正が必要です!

ライフプランの年代別ポイント



独身・新婚期(主に20~30歳代)

独身期は貯蓄の習慣化、結婚後は家族単位の家計運営を。
※国、企業の社会保障を理解



家族形成期(主に30~40歳代)

子育て、教育が中心。マイホーム取得を考える場合は資金計画を。
※今後の家計収支や貯蓄残高をシミュレーションし、問題ないかをチェック!



家族成長期(主に40~50歳代前半)

教育費、住宅ローンの支出がかさむ時期。老後も視野に入れた資金計画が必要。
※支出の優先順位を確認



家族円熟期(主に50歳後半~60歳代以降)

リタイア後の具体的な資金計画を。
※リタイア後は、家計収支が変化します。増える支出や、減る収入等を確認しましょう



楽しく、素敵に!

エンジョイ フナーライフ



2 ライフプランを立てよう!

ライフプランを立てるために、次の項目を書き出してみましょう。

1 毎年の家族全員のライフイベント (学校の卒業・入学など、人生の節目の行事)

2 イベントにかかる予算立て

例)5年後に車の買い替え、10年後にマイホーム取得計画など

3 給与明細や源泉徴収票で「総収入」と「手取り」を確認

・支出金額を書き出す
基本生活費、住居費、教育費、耐久財、レジャー、保険など

Point

固定費と変動費に分け、まず1カ月の予算を立てて、次に年間の予算立てを!

・収入-支出を算出し、その年の貯蓄可能額を把握する
・前年の貯蓄残高+その年の年間収支の金額を算出し、翌年に繰り越せる貯蓄高を算出する

家計の支出に対する考え方は、現在の収入で判断するのではなく、生涯の収入総額を基に考えていきましょう。

※これらの数字やライフプランをもとに、将来の収支状況と貯蓄残高を予想したものがキャッシュフロー表です

Advice

経営計画の「見える化」で、

将来への不安が軽減されます

家計という経営計画を“見える化”することで、将来への不安が軽減されるだけでなく、世の中の販売戦略によってしまう心配もありません。自分たちに合った物やサービスを計画的に購入することが大切です。



ファイナンシャル・プランナー
枝川 陽子さん

今回は 楽々たまる! 貯蓄編 です

